

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 会津森林管理署、南会津支署
所在地	福島県 大沼郡、南会津郡
面積	83992.18ha
設定年	2007(H19)年
保護林の概要 (設定目的)	会津地域の南西部に位置する駒ヶ岳、燧ヶ岳、帝釈山、田代山一帯で標高およそ1,000m以上の地域、さらに中西部の朝日岳、浅草岳、御神楽岳と連なる地域には、自然性の高い森林が広範囲に分布している。これら奥山のまとまった森林は、地域の骨格的な自然を形成している。また、野生動物の動物相も豊かであり、これらの原生的な森林生態系を保存することにより、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資するために設定する。



2020.8.5



2020.9.9

モニタリング調査概要

実施年度	2010年、2015年、2020年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査、動物調査等
調査手法	森林詳細調査として、自然低木群落、湿原・雪田植物群落、自然ササ群落、オオシラビソ群落の生育地において調査プロットを計10箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。動物調査として、調査プロットまでの経路に4つ調査ルート設定し、保護林内における出現種を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	森林調査、動物調査について、前回調査と比較し特に変化は確認されなかった。オオシラビソ群落についても、次世代を担う低木層や実生の更新を確認した。病虫害、鳥獣害による影響も確認されず、本森林生態系保護地域は良好な状態で維持されている。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。